

それぞれの廃材を活かした物作り、遊びへの発展

対象：きく組（4歳児） 作成者：薦田莉奈 作成日：2018年5月7日

●保育のねらい

- ・身の回りにある廃材を使って作りたいものを想像しながら製作することを楽しむ。
- ・手作りの玩具を遊びに取り入れる。



赤ちゃんを下に隠さなきゃ！



●保育の振り返り

廃材遊びは何度かした事があったが、テープやリボンなど飾りつけを豊富に準備することで毎回違う物を想像しながら作って楽しんでいった。(思考力の芽生え・豊かな感性と表現) 作ったデザートを他のクラスの友達や保育者にあげたり(2枚目)、靴を見せてあげたりしていた。ままごとをしていたA君はデザートを作ってくれたB君がままごとに参加したことでそこから母親役や赤ちゃん役になりきり(協同性・言葉による伝え合い)、更に前の週に行った避難訓練を遊びに取り入れ「地震だ！地震だ！」と机の下に人形の赤ちゃんを避難させてあげていた。(3枚目)(生命尊重) 生活の連続性がみられる遊びであり、子どもの成長がわかる遊びであった。